

## 2021 年度 研究センター事業報告書

研究センター名	環太平洋文明研究センター
---------	--------------

## I. 研究成果の概要（公開項目） ※1ページ以内にまとめること

本欄には、研究センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、項目立てなどをおこなうだけでいいわけではなく、記述してください。

環太平洋文明研究センターは、環境考古学、文化人類学、地理学、考古学の4分野が中心となり、環太平洋地域における人類と環境との関わりを考察し、人類が持続可能な社会を構築する方策を見出し、新たな文明の価値観を探求・創造することを目的として、研究を行っている。研究成果の一部は、『環太平洋文明研究紀要』6号(2022年3月刊行)に掲載している。以下、2021年度に公表・実施された研究成果の中で、具体的な形としてわかりやすく説明しやすい成果を選んで列挙する。

## (成果1) 世界各地の農耕開始期が温暖化と一致することを実証的に提示。

中川毅らは福井県水月湖の年縞堆積物による約 18,000～8,000calBP までの気候変動を概ね 10 年幅で詳細に復元した結果、氷期から現代に続く暖かい時代への移行期には、気候が安定した時代と不安定な時代が交互に訪れていたことを明らかにした。世界各地で植物の栽培化を開始した時代や農耕を基盤とした集落が出現する時代は、いずれも気候が比較的温暖かつ安定していた時期と一致することを指摘した。従来、20,000calBP 頃の最終氷期最寒冷期でもあまり寒くなかった熱帯地域において農耕の開始が遅れていた要因については説明されてこなかった。

## (成果2) 江戸時代の紙に漉き込まれた毛髪の実験から江戸時代の食生活を復元。

神松幸弘は毛髪の窒素や炭素の安定同位体分析を用い、江戸時代の食生活がほぼ米と海産魚に依存していたことを明らかにした。毛髪サンプルは国文学研究資料館と共同で約7万冊の版本を精査し、江戸時代から近代まで 400 点以上の毛髪サンプルを収集して分析を進めた。これまでに、粟や稗を食べる割合が減り、海産物への依存が増加したこと、江戸は京や大坂に比べ粟や稗を食べる割合が高かったことが明らかになった。本研究は、一般人のサンプルを数多く分析することができる点で世界にも類を見ない有益な知見を提供できる可能性が高い。

## (成果3) 「コミュニティ」の重要性に着目した持続型文明社会モデルの試行的構築。

縄文時代では人口変動と儀礼祭祀の連動性が高いことなどから、文明の持続には生存という明確な目的を共有し資源を獲得・分配する「組織」とともに、さまざまな「まつり」を通じ広範囲で多様な人びとが交流する「コミュニティ」も必要であるとする仮説に基づくモデルを中村大が作成した。特に、儀礼祭祀はコミュニティの活動に深く関わると解釈した。組織は資源に対するレジリエンスを、コミュニティは情報に対するレジリエンスを発揮し、社会の継続を可能にすると考え、「文明レジリエンスモデル」のプロトタイプを作成した。このモデルは、日常生活のなかでレジリエンスが涵養されていくメカニズムを社会情報（文化情報＋経済情報）の構成モデルとして図式化したもので、環境や資源だけではなく、社会組織の内実に注目した点に意義がある。今後、本モデルを利用・応用した研究発表、論文・書籍の執筆を進めていく予定である。

## (成果4) 遺物量からみた考古学的人口動態復元の試行。

京都盆地の一部地域における縄文～明治初期にかけての 27,000 以上の遺物に関するデータを Corey Tyrer NOXON と矢野健一が収集し、このデータから遺物量の経年変化を統計学的に推定している。遺物量の変化を人口動態復原につなげていくためには、さらにいくつかの操作や検証が必要となるが、現在までの成果は、2022 年度の The Society for East Asian Archaeology (東アジア考古学会) で報告する予定である。考古学的人口動態復原研究は遺跡数や住居数から実施されてきたが、遺物量に着目した研究は少なくとも日本では初めての試みである。

## (成果5) 1970～80 年代の環太平洋民族調査資料のデジタル化

客員協力研究員小野林太郎は国立民族学博物館「地域研究画像デジタルライブラリ(DiPLAS)」に採択され、客員研究員福本繁樹の南太平洋民族調査・収集資料写真約 5,000 点のデジタル化を矢野健一の協力のもと、完了した。この資料は 1970 年代から 80 年代初期のパプアニューギニアを中心とする南太平洋島嶼地域調査の貴重な記録である。現在、民博データベース上での公開に向けて準備するとともに、その一部についての著書刊行を進めている。

## (成果6) 甘藷の原料究明と復元に関する研究

GAP ファンド、京都知恵産業創造の森など共同事業開発研究に応募し、京都知恵産業創造の森からの助成を得て、神松幸弘は甘藷の商業開発に向けた取り組みを進めた。とくに栽培ブドウ品種から樹液をとり、甘味料を作ることは、果樹栽培農家にとって、農閑期の貴重な収入になるだけでなく、中山間村の活性化を促進する新たな資源として甘藷が期待でき、京丹波町のぶどう園との共同研究が進行中である。

## II. 拠点構成員の一覧（公開項目）※ページ数の制限は無し

本欄には、2022年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員研究員等の構成員を全て記載してください。区分が重複する場合は二重に記入せず、役割が上にあるものから優先し全て記載してください。また、若手研究者の条件に当てはまる場合は、必ず若手研究者欄に記載をしてください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③大学院生、④日本学術振興会特別研究員(PD・RPD)

役割	氏名	所属	職位
センター長	矢野 健一	文学部	教授
運営委員	高橋 学	文学部	特任教授
	小川 さやか	先端総合学術研究科	教授
	河角 直美	文学部	准教授
	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante	政策科学部	准教授
学内教員 (専任教員、研究系教員等)	中川 毅	総合科学技術研究機構	特別招聘研究教員 (教授)
	島田 伸敬	情報理工学部	教授
	川村 貞夫	理工学部	教授
	中村 大	立命館グローバル・イノベーション研究機構	研究教員(助教)
	神松 幸弘	立命館グローバル・イノベーション研究機構	研究教員(助教)
	富田 敬大	立命館グローバル・イノベーション研究機構	研究教員(助教)
学内の若手研究者	専門研究員 研究員 初任研究員	杜 海寧(アルベルトウス ＝トーマス・モリ)	先端総合学術研究科 初任研究員
	Corey Noxon Tyler	立命館グローバル・イノベーション研究機構	専門研究員
	補助研究員・リサーチアシスタント		
	大学院生	酒向 溪一郎	先端総合学術研究科 博士課程後期課程
	学振特別研究員 (PD・RPD)		
その他の学内者 (非常勤講師・研究生・研修生等・博士前期課程院生等)	岩田 京子	先端総合学術研究科	研究指導助手
客員協力研究員	尾関 清子	東海学園女子短期大学	名誉教授
	小野 林太郎	国立民族学博物館人類文明誌研究部	准教授
	中嶋 直樹	---	---
	北川 淳子	福井県年縞博物館	学芸員
	宮多良 ディスネル	関西大学	非常勤講師
	近藤 宏	早稲田大学教育学部複合文化学科	助教
	清水 昭	福島県立医科大学	特任教授
	那須 浩郎	岡山理科大学教育	准教授
	魚津(東村) 純子	福井大学国際地域学部	講師
	藤木 利之	岡山理科大学理学部基礎理学科	准教授

	福本 繁樹	金沢美術工業大学	非常勤講師
	真邊 彩	鹿児島県教育庁文化財課	指定文化財係
	福本 侑	大阪市立大学大学院理学研究科	博士奨励研究員
	森下 直紀	和光大学経済経営学部経済学科	准教授
	山田 和芳	早稲田大学人間科学学術院	教授
	内尾 太一	麗澤大学国際学部	准教授
	瀧上 舞	国立歴史民俗博物館	プロジェクト研究員
	市木 尚利	姫路女学院中学校・高等学校	常勤講師
その他の学外者 (他大学教員・若手研究者等)	外山 秀一	皇學館大學文学部	教授
	高山 浩司	京都大学理学研究科	准教授
	森 勇一	東海シニア自然大学	講師
	石田 智恵	早稲田大学法学学術院	准教授
	上峯 篤史	南山大学人文学部	准教授
	木村 啓章	大阪府教育庁	技師
	幡中 光輔	出雲市文化財課	主事
	中村 豊	徳島大学大学院社会産業理工学 研究部(社会総合科学域)	教授
	遠部 慎	島根大学法文学部	客員研究員
	宮地 聡一郎	福岡県教育委員会	主査
	栗畑 光博	都城市教育委員会	主幹
	松森 智彦	同志社大学人文科学研究所	嘱託研究員
	菅原 大助	東北大学災害科学国際研究所	准教授
	小野 映介	駒澤大学文学部	教授
	桐村 喬	皇學館大学	准教授
丸山 敦	龍谷大学	教授	
研究所・センター構成員 計 49 名 (うち学内の若手研究者 計 3 名)			

### Ⅲ. 研究業績 (公開項目) ※ページ数の制限は無し ※to be published,の状態の業績は記載しないで下さい。

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2022年3月31日時点)

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	Takahiro Tomita	“Avrasya Göçebeligi Projesi”	共著	2021年7月	Osmangazi Belediyesi and Arkhangai Aimag “Orhon Yazıtları ve Türk Moğol İlişkileri”	Hikari Egawa, Ayush Tseel, İlhan Şahin, Yuko Matsumiya	pp.205-219,
2	Takahiro Tomita	“Transformation of Human-Environmental Relations in Socialist Mongolia”	共著	2021年度	Osmangazi Belediyesi Yayınları “Üç Kita - Bir Tarihiç”	-	pp.377~389
3	小川さやか	「ずる賢さは価値である」	共著	2021年6月	黒鳥社『働くことの人文学—仕事と自由をめぐる8つの対話』	松村圭一郎, コクヨ学習センター編	pp.135~168

4	小川さやか	「語られないシェアが基盤となる社会」	共著	2021年8月	学芸出版社、『住まいから問うシェアの未来』	住総研「シェアが描く住まいの未来」研究委員会編	pp.165～192
5	小川さやか	「借金をしよう、返さずに生きよう」	共著	2021年10月	青土社『障害をしゃべろう上巻』	里見喜久夫編	pp.205～218
6	小川さやか	「苦手な人びと、親しくない人びとに贈り物をしよう」	共著	2021年12月	星海社、『博報堂生活総研のキラーデータで語るリアル平成史』	博報堂生活総研編	pp.201～209
7	小川さやか	「タンザニア商人に学ぶ制度や組織に頼らない生き方」	共著	2021年10月	PHP 研究所、『思考のコンパス—ノーザルなき世界を生きるヒント』	山口周	pp.103～131
8	内尾太一	「災害と観光—東日本大震災の被災地における『ダークツーリズム』」	共著	2021年5月	ミネルヴァ書房、『観光人類学のフィールドワーク』	市野澤潤平, 碓陽子, 東賢太朗	pp.177～195
9	近藤宏	「支配から逃れる運動線」	共著	2021年10月	以文社、『マンガ版 マルチスピーシーズ人類学』	奥野克己, シンジルト編	pp.199～216
10	矢野健一	「無人潜水機の利用—葛籠尾崎湖底遺跡の調査」	共著	2022年3月	文化庁文化財第二課、『水中遺跡ハンドブック』	文化庁文化財第二課編	p.124

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	Hiroo Nasu	“Dry or Wet? Evaluating the initial rice cultivation environment on the Korean Peninsula”	共著	2021年	“Agronomy”, MDPI Vol.11(5)	Shinya Shoda, Hiroo Nasu, Kohei Yamazaki, Natsuki Murakami, Geon-Ju Na, Sung-Mo Ahn and Minoru Yoneda		有
2	Kazuyoshi Yamada	“A Lacustrine Biomarker Record From Rebun Island Reveals a Warm Summer Climate in Northern Japan During the Early Middle Holocene Due to a Stronger North Pacific High”	共著	2021年	“Frontiers in Earth Science” FRONTIERS MEDIA SA, Vol.9,	Masanobu Yamamoto, Fangxian Wang, Tomohisa Irino, Kenta Suzuki, Tsuyoshi Haraguchi, Katsuya Gotanda, Hitoshi Yonenobu, Xuan Yu Chen and Pavel Tarasov		有
3	Kazuyoshi Yamada	“Characteristics in trace elements compositions of tephra (B-Tm and To-a) for identification tools”	共著	2021年	“Geochemical Journal”, TERRAPUB, Vol.55, no.3,	Fumiko Watanabe Nara, Tatsunori Yokoyama, Shin-ichi Yamasaki, Masayo Minami, Yoshihiro Asahara, Takahiro Watanabe, Noriyoshi Tsuchiya and Yoshinori Yasuda,	pp.117 ~ 133	有
4	Takeshi Nakagawa,	“The spatio-temporal structure of the Lateglacial to early Holocene transition reconstructed from the pollen record of Lake Suigetsu and its precise correlation with other key global archives: Implications for palaeoclimatology and archaeology”	共著	2021年	Volume 202, Elsevier B.V., “Global and Planetary Change”	Pavel Tarasov, Richard Staff, Christopher Bronk Ramsey, Michael Marshall, Gordon Scholaut, Charlotte Bryant, Achim Brauer, Henry Lamb, Tsuyoshi Haraguchi, Katsuya Gotanda, Ikuko Kitaba, Hiroyuki Kitagawa, Johannes van der Plicht, Hitoshi Yonenobu, Takayuki Omori, Yusuke Yokoyama, Ryuji Tada, Yoshinori Yasuda, Suigetsu 2006 Project Members	pp.1～21	有
5	北川淳子	「福井県北潟湖における夏の水質と珪藻遺骸分布」	共著	2021年	『Laguna』,汽水域研究会, 28巻,	香月興太, 瀬戸浩二	pp.1～14	有
6	Hiroo Nasu	“Beginning of pig management in Neolithic China: comparison of domestication processes between northern and southern regions”	共著	2021年	Hitomi Hongo, Hiroki Kikuchi	Hitomi Hongo, Hiroki Kikuchi	pp.30～42	有
7	Kazuyoshi Yamada	“Long-term changes in morphological traits of Daphnia pulex in Lake Fukami-ike, Japan”	共著	2021年	“Limnology”, Springer, Vol 22, no.3,	Yurie Otake, Hajime Ohtsuki, Jotaro Urabe, Takehito Yoshida,	pp.329 ~ 336	有
8	Fukumoto, Y.	“Human actions were responsible for both initiation and termination of varve	共著	2021年	“Journal of Paleolimnology”, Springer	Salminen, S., Tammelin, M., Jilbert, T., Saarni, S	pp.1～21	有

		preservation in Lake Vesijärvi, southern Finland”							
9	Takeshi Nakagawa, Junko Kitagawa	”Intermittent non-axial dipolar-field dominance of twin Laschamp excursions, “ Communications Earth & Environment”	共著	2021年		Masayuki Hyodo, Hayato Matsushita, Ikuko Kitaba, Keitaro Yamada, Shota Tanabe, Balázs Bradák, Masako Miki, Danielle McLean, Richard Staff, Victoria Smith, Paul Albert, Christopher Bronk Ramsey, Akiteru Yamasaki, Suigetsu 2014 Project			無
10	北川淳子	「福井県北潟湖堆積物の花粉分析と CNS 元素分析からみた環境変遷と人間活動」	共著	2021年	『Laguna』, 汽水域研究会	吉田明弘・篠塚良嗣・長谷部徳子			無
11	福本侑	「兵庫県南部沿岸域における中期更新世(MIS11)の珪藻化石群集と地殻変動量の評価」	共著	2021年	『人と自然』, 第32号	佐藤裕司, 加藤茂弘, 兵頭政幸	pp.57~67		無
12	那須浩郎	「弥生時代の採集植物と栽培植物」	単著	2021年	『人類誌集報』, 唐古・鍵考古学ミュージアム・水田稲作比較技術研究プロジェクト・人類誌調査グループ, 15巻		pp.75~83		無
13	森勇一	「遺跡産昆虫から得られたムシとヒトの災害史的研究 基礎データから考える第四紀学の展開」	共著	2021年	号外地球, 71	奥野充	pp.52~63		無
14	山田和芳	「ASGM(人カ小規模金採掘)に関連した環境汚染研究における湖沼掘削科学の貢献と役割」	共著	2021年	号外地球, 71	村尾智, 富安卓滋, 奥野充, 瀬戸浩二, 香月興太, 中西利典, 加田渉	pp.70~77		無
15	山田和芳	「U チャンネル試料を利用した菌牽池コアの磁気特性の研究」	共著	2022年1月	号外地球, 71	林田明, 横田敬作	pp.107 ~ 111		無
16	福本侑	「モンゴル北部ウランブルガス湖の珪藻および花粉化石群集と完新世後期の環境変化」	共著	2022年3月	『環太平洋文明研究』, 雄山閣, 6号	藤木利之, 那須浩郎	pp.24~36		無
17	小川さやか	「ギグ・ワーカー化するタンザニアのインフォーマル経済」	単著	2021年	『季刊民族学』, 千里文化財団, 176号		pp.74~81		無
18	小川さやか	「アジアにおける人の移動を問い直す」	単著	2021年	『アジアへのとびら 2021』, アジアの本の会				無
19	小川さやか	「OWING OUR ECONOMY 「ついで」の互助と変容のエコシステム」	単著	2021年	『Wired』, プレジデント社, Vol.41		pp.40~44		無
20	小川さやか	「自分をケアする料理 地鶏のトマト煮込み」	単著	2021年	『群像』, 講談社, 2021年8月号		p.104		無
21	小川さやか	「機会のシェアと不確実性への想像力—タンザニア商人を事例に」	単著	2021年	『地域開発』, 日本地域開発センター, vol.638		pp.58~63		無
22	小川さやか	「ままならなさを飼い慣らす知恵」	単著	2021年	『ニューサポート高校「国語」』, 東京書籍, Vol.36		pp.6~7		無
23	小川さやか	「ジユマのアリバイ」	単著	2021年	『公研』, 公益産業研究調査会, 2021年8月号		pp.8-9		無
24	小川さやか	「反自動化経済論—無料はユートピアをつくらない」	単著	2021年	『ゲンロン』, ゲンロン, Vol.12				無
25	Sayaka Ogawa	“An Informal Used-Car Trading System Between Hong Kong and East Africa Countries Using ICT, Kojima M. and S. Sakata eds”	単著	2021年	International Trade of Secondhand Goods: Flow of Secondhand Goods, Actors and Environmental Impact, Palgrave		pp.131 ~ 152		有
26	近藤宏	種による記述、あるいは複製される身体表面 —— パナマ東部先住民エンペラによる「自然の叙述」	単著	2021年	『文化人類学研究』, 現代文化人類学会, 22巻		pp.54~79		有
27	酒向溪一郎	書評 古川勇気著『チーズづくりの民族誌—ペルー山村の暮らしと市場をつなぐ「計算」と「配慮」	単著	2021年	『文化人類学』, 日本文化人類学会, 86巻3号		pp.504 ~ 507		有
28	Takahiro Tomita	“Dzud and the industrialization of pastoralism in socialist Mongolia”	単著	2021年	Journal of Contemporary East Asia Studies, Waseda Institute of Contemporary Chinese Studies (WICCS)				有
29	小川さやか	「特集アカデミック・ジャーナリズム 『専門知』を『臨床知』で乗り越える」	共著	2021年	『アステイオン』, サントリー文化財団, 95号	渡辺一史, 武田徹	pp.44~60		無

30	小川さやか	「街の思考と気分 地図のない街の歩き方」	単著	2021年	『新潮』, 新潮社, 1119 巻 3号,		pp.158 ~ 161	無
31	小川さやか	「Go Toトラベルとコモンズ」	単著	2021年	『中央公論』, 中央公論新社, 136 巻 1 号		pp.26~27	無
32	小川さやか	「文系研究者と企業をつなぐ仕掛け」	単著	2021年	『中央公論』, 中央公論新社, 136 巻 2 号		pp.26~27	無
33	小川さやか	「新書通 105 人が厳選した年間ベスト 20」	単著	2022年	『中央公論』, 中央公論新社, 136 巻 3 号,		pp.22~23	無
34	小川さやか	「流動性の高まる社会で支えあう関係とは」	単著	2022年	『中央公論』, 中央公論新社, 136 巻 3 号		pp.22~23	無
35	小川さやか	「『推しメン休暇』に見る仕事と自由」	単著	2022年	『中央公論』, 中央公論新社, 136 巻 4 号		pp.18~19	無
36	遠部慎	「徳島県大松遺跡出土ハイガイの年代測定」	単著	2021年	『人文研紀要』, 中央大学人文科学研究所, 第 95 号		pp.267 ~ 286	有
37	遠部慎	「岡山市東区長沼・円定寺貝塚の成長線分析とその年代」	共著	2021年	『古代吉備』, 古代吉備研究会, 32 号	畑山智史	pp.81~92	有
38	Shin Onbe	“ Ancient genomics reveals tripartite origins of Japanese populations ”	共著	2021年	“ SCIENCE ADVANCES ” 2021-9	Niall P. Cooke1, Valeria Mattiangeli, Lara M. Cassidy, Kenji Okazaki, Caroline A. Stokes, Satoshi Hatakeyama, Kenichi Machida, Kenji Kasai, Naoto Tomioka, Akihiko Matsumoto, Masafumi Ito, Yoshitaka Kojima, Daniel G. Bradley, Takashi Gakuhari, Shigeki Nakagome	pp.1~15	有
39	柴畑光博	「宮崎県仲野原遺跡出土の縄文時代早期末条痕文土器群の年代」	共著	2021年	『宮崎考古』, 宮崎県考古学会, 31	原栄子	pp.23~31	無
40	柴畑光博	宮崎平野における鬼界アカホヤテフラ降下前後の環境変化 - MIK コアの解析結果に基づいて -	共著	2021年	『月刊地球号外』, 海洋出版, 70	杉山真二, 中西利典, 足立達朗, 田尻義了, 下山正一, 山口龍彦, 大串健一, 七山太	pp.89~99	無
41	柴畑光博	「宮崎平野で認められた 7.3ka 津波堆積物および鬼界アカホヤ火山灰降下前後の古環境変化」	共著	2021年	『月刊地球号外』, 海洋出版, 70	七山太, 前野深, 中西利典, 杉山真二	pp.76~88	無
42	宮地聡一郎	「九州地方における晩期から弥生開始期をめぐる型式学」	単著	2021年	『季刊考古学』, 雄山閣, 第 155 号		pp.59~62	無
43	遠部慎	「中四国地方」	単著	2021年	『考古学ジャーナル』, ニューサイエンス社, No.755		pp.38~40	無
44	中村大	「縄文時代の人口と儀礼における変化の連動性 - 文化情報が社会のレジリエンスを生む -」	単著	2021年	『日本考古学協会第 87 回総会研究発表要旨』, 日本考古学協会		pp.100	無
45	遠部慎	「久万高原町白猪山周辺の山岳遺跡 - 近世里修験と山岳修験の様相 -」	共著	2021年	『いせきニューズレター』, 153, 遺跡発行会	十亀幸雄	pp.10~20	無
46	柴畑光博	「宮崎平野の跡江地区における鬼界アカホヤテフラ降下前後の環境変化 - MIK2 コアの解析結果に基づいて -」	共著	2021年	『宮崎大学教育学部研究紀要』, 宮崎大学教育学部, 97 号	大平明夫, 杉山真二, 中西利典, 足立達朗	pp.60~84	無
47	矢野健一	「漁師喜助の発見 水中遺跡が語る数千年の営み」	単著	2021年	『K』, 特定非営利活動法人 Knit-K (ニック), 002 号		pp.32~35	無
48	Atsushi Uemine	“ Lithic production strategy of early upper Paleolithic in Shuilian Cave, North China ”	共著	2021年	“ Quaternary International ”, the International Union for Quaternary Research , Vol.610,	Takaaki Watanabe, Fagang Wang, Masako Yamane	pp.108 ~ 121	有
49	遠部慎	「豆をまかない村」	単著	2021年	『現象と秩序』, 現象と秩序企画編集室, 15 号		pp.67~78	無
50	矢野健一	「垣ノ島 B 遺跡出土漆糸製品の編布案と復元実験中間報告」	共著	2022年 3 月		尾関清子, 末松万由子	pp.52~66	無
51	中村大	「幕末長州藩における柑橘類栽培の特徴」	共著	2022年	『山口大学教育学部論叢』, 山口大学教育学部, 第 71 巻	五島淑子	pp.221 ~ 228	無
52	矢野健一	「竹倉史人著『土偶を読む - 130 年間解かれなかった縄文神話の謎 -』(晶文社, 二〇二一年)」	単著	2022年	『立命館史学』, 立命館史学会, 42 号		pp.157 ~ 164	無
53	矢野健一	「漁師喜助の発見 水中遺跡が語る数千年の営み」	単著	2022年	『K』, 特定非営利活動法人 Knit-K (ニック), 002		pp.32~35	無
54	桐村喬	「メッシュデータの可視化ツール『MeshDataView3D』の開発と	共著	2021年	『E-journal GEO』, 日本地理学会, 第 16 巻 1 号		pp.176 ~ 186	有

		活用方法」						
55	桐村喬	「GIS 学会 教育委員会のハンズオンセッションから」	共著	2021 年	『ESTRELA』, 公益財団法人統計情報研究開発センター, 2021 年 5 月号	相尚寿	pp.10~14	無
56	高橋学	「不適切な土地利用が拡大させる災害一災害と舟・鉄道・自動車による流通の関係一」	単著	2022 年 3 月	『環太平洋文明研究』, 雄山閣, 6 号		pp.37~52	無

3. 研究発表等								
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名			
1	福本侑	「珪藻および黄金色藻遺骸を用いたフィンランド中部年縞湖沼 Kortta 湖における AD1250 年以降の環境・洪水変動史の復元」	2021/6/1	日本地球惑星科学連合, 2021 年大会(オンライン)	鹿島薫, Saarinen, T.			
2	Fukumoto, Y.	「Reconstruction of environmental and flooding histories since AD1250 at three annually laminated lakes in Central Finland using diatom assemblages」	2021/8/1	IDS 2021-Online International Diatom Symposium	Kashima, K., Saarinen, T.			
3	福本侑	「フィンランドの年縞堆積物における珪藻・黄金色藻以外群集の変動を用いた過去 750 年間の洪水頻度復元」	2021/8/1	大阪市住吉区・大阪市立大学(オンライン)	鹿島薫, Saarinen, T.			
4	中川毅, 北川淳子	「水月湖年縞堆積物におけるラシアン地磁気エクスカージョンの発見とその年代学的・層序学的意義」	2021/8/1	日本第四紀学会 2021 大会, 大阪市住吉区・大阪市立大学(オンライン)	兵頭政幸, 松下隼人, 北場育子, 山田圭太郎, プラダクバラージュ, 三木雅子, リチャード A. スタッフ, ダニエーレマクレアン, ヴィクトリア C. スミス, ボール G. アルバート, クリストファー・ブロンクラムゼイ, 山崎彬輝, 水月湖 2014 プロジェクトメンバー			
5	古川勇気	「民話による内的なまなざし。ペルー、カハマルカ県の教育と観光の事例から」	2021/5/1	日本文化人類学会, 日本文化人類学会第 55 回研究大会, 京都市左京区・京都大学(オンライン)				
6	近藤宏	「フロンティア空間」と「境界に住まう者」	2021/5/1	日本文化人類学会, 第 55 回日本文化人類学会研究大会, 京都市左京区・京都大学(オンライン)				
7	富田敬大	「社会主義モンゴルにおける牧畜の産業化と寒害(ゾト)」	2021/5/1	日本文化人類学会, 第 55 回日本文化人類学会研究大会, 京都市左京区・京都大学(オンライン)				
8	小川さやか	「Session 2 交わる東アジアとアフリカギグ・エコミー化するインフォーマル経済—香港および母国のタンザニア人を事例に」	2021/6/1	東北大学東北アジア研究センター創設 25 年 記念講演会・国際シンポジウム, 仙台市青葉区・東北大学(オンライン)				
9	小川さやか	「ネイバーフッドエコミーと負債のゆくえ—東アフリカを事例に」	2021/8/1	東京外国語大学アジアアフリカ言語文化研究所共同研究『負債の動態に関する比較民族誌的研究』, 小平市・東京外国語大学(オンライン)				
10	中村大	「縄文時代の人口と儀礼における変化の運動性—文化情報が社会のレジリエンスを生む—」	2021/5/1	日本考古学協会, 第 87 回総会, 川崎市多摩区・専修大学(オンライン)				
11	幡中光輔	「島根県の海水準変動と三瓶山噴火からみた縄文時代の遺跡動態」	2021/6/1	中四国縄文研究会, 第 31 回中四国縄文研究会岡山大会「海水準変動と遺跡動態」, 岡山市北区・岡山大学(オンライン)				
12	上峯篤史	「岐阜県下呂市湯ヶ峰流紋岩原産地における考古学・地質学的調査(1)」	2021/6/1	日本旧石器学会, 第 19 回総会, オンライン開催,	村瀬早紀, 村井咲月, 吉田真優, 鈴木しゅん菜			
13	遠部慎	「中国地方におけるカワニナ習俗」	2021/7/1	日本動物考古学会, 第 8 回大会, 奈良市・奈良文化財研究所(オンライン)	松田凌馬			
14	遠部慎	「久万高原町白猪山周辺の山岳遺跡」	2021/7/1	遺跡発行会, 7 月例会, 愛媛県砥部町・そがめ塾	十亀幸雄			
15	栗畑光博	「鬼界アコハヤ噴火の影響に関する考古学的研究の現状と課題」	2021/7/1	福岡市城南区・福岡大学中央図書館多目的ホール(オンライン)	内山純蔵			
16	遠部慎	「結婚式には墓石を一愛媛県における石打ち習俗の聞き取り調査」	2021/8/1	岡山民俗学会, 8 月例会(オンライン)				
17	遠部慎	「地蔵ヶ淵洞穴の再検討—AMS 年代測定を中心に—」	2021/9/1	日本文化財科学会, 第 38 回大会, 岡山市北区・岡山理科大学(オンライン)	畑山智史, 米田穰, 小林謙一			
18	中村大	「縄文時代の人口変動と情動的レジリエンスとしての儀礼祭祀」	2021/9/1	立命館大学デザイン科学研究センター, 第 3 回革新的意味創出研究会, 茨木市・立命館大学いばらきキャンパス(オンライン)				
19	神松幸弘	「人間にとっての変化と安定—環境の変化は脅威なのか?、変化はチャンス?! をサンショウウオや縄文」	2021/5/1	立命館大学デザイン科学研究センター, 第 1 回革新的意味創出研究会, 茨木市・立命館大学いばらきキャンパス(オンライン)				

		人の生活から見直すー」			
20	高橋学	「古環境を復元するー過去・現在・未来ー」	2021/6/1	中四国縄文研究会, 第31回中四国縄文研究会岡山大会「海水準変動と遺跡動態」, 岡山市北区・岡山大学(オンライン)	
21	桐村喬	「大阪府吹田市における共同住宅単位の年齢・世帯構成の長期的変化ー国勢調査調査区資料の活用」	2021/8/1	人文地理学会, 都市圏研究部会第67回研究会, オンライン開催	
22	小野映介	「青森平野中央部における沖積層の堆積過程」	2021/8/1	日本第四紀学会 2021 大会, 大阪市住吉区・大阪市立大学(オンライン)	
23	Corey Noxon	AR to Teach Archaeology in CLIL and Other Classes	2021/11/1	JALT	
24	Corey Noxon	Improving Archaeological Outreach Through 3D Scanning and XR, Immersive Technology Uses in Interactive Media: A Collection of Case Studies	2021/11/1	Kyoto Conference on Arts, Media, and Culture (KAMC2021), Kyoto	
25	Corey Noxon	Investigating the Middle Jomon Boom and Bust Population Pattern in the Kanto and Chubu Regions of Japan	2021/9/1	Computer Applications and Quantitative Methods in Archaeology (CAA)- Australasia	
26	Corey Noxon	A Paleodemographic Investigation of the Middle Jomon Boom and Bust Population Pattern in the Kanto and Chubu Regions	2021/6/1	Society for East Asian Archaeology (SEAA),	
27	Atsushi Uemine	「How quartz was splintered: a flake production method in the Early Upper Paleolithic in North China」	2021/10/1	International Symposium on Knappable Materials, Rock and Roll: 13th International Symposium on Knappable Materials, Spain・Tarragona(オンライン開催)	
28	Atsushi Uemine	「Xibaimaying as Denticulate lithic industry in Nihewan Basin, North China」	2021/12/1	Asian Paleolithic Association, The Tenth Meeting of Asian Paleolithic Association, 中華人民共和国・(オンライン開催)	
29	那須浩郎	「弥生時代の採集植物と栽培植物」	2021/12/1	シンポジウム「弥生時代の食文化を考える」, 田原本町・青垣生涯学習センター弥生の里ホール	
30	那須浩郎	「居家以岩陰遺跡から出土した縄文時代早期のヒエ属とマメ」	2021/10/1	日本植生史学会, 第36回日本植生史学会山梨大会, 笛吹・帝京大学文化財研究所	工藤雄一郎, 佐々木由香, 百原 新, 谷口康浩
31	那須浩郎	「縄文時代におけるニフトコ果実の用途の推定」	2021/10/1	日本植生史学会, 第36回日本植生史学会山梨大会, 笛吹・帝京大学文化財研究所	平岡和, 金子明裕
32	山田和芳	「ボーリングコアの分析結果から見る鹿児島県蘭牟田池の環境変化について(概報)」	2021/11/1	第31回社会地質学シンポジウム	吉元周平, 中西利典, 村尾智
33	山田和芳	「鹿児島県蘭牟田池ボーリングコアの層序・年代と古環境学的価値について」	2021/11/1	第31回社会地質学シンポジウム	蘭牟田池プロジェクトメンバー
34	Kazuyoshi Yamada	「Sedimentary science to access mercury in 'varves」	2021/11/1	Online Seminar on Geological and Environmental Research Methodology for ASGM,	
35	山田和芳	「猪鼻湖の縮状堆積物を利用した古環境復元」	2022/1/1	島根大学エスチュアリー研究センター(EsReC), 第29回汽水域研究発表会, 汽水域研究会第10回例会, 汽水域合同研究発表会 2022(ハイブリッド)	清政宗一郎, 香月興大, 瀬戸浩二
36	山田和芳	「ASGM(零細および小規模金採掘)に関連した環境汚染研究における湖沼掘削科学の貢献と役割」	2022/1/1	島根大学 エスチュアリー研究センター(EsReC), 第29回汽水域研究発表会, 汽水域研究会第10回例会, 汽水域合同研究発表会 2022(ハイブリッド)	
37	福本侑, 藤木利之, 那須浩郎	「モンゴル北部における湖沼環境と気候・風成塵の長期的変動の復元」	2021/12/1	鳥取大学乾燥地研究センター・令和3年度共同研究発表会	Davaadorj Saindovdon
38	福本侑	「隠岐島後、女池における過去1千年間の珪藻群集変遷」	2021/11/1	日本珪藻学会第41回研究集会, オンライン開催	香月興大, 中西利典
39	福本侑	「九州西岸沿岸湖沼堆積物に保存された過去7500年間におけるイベント堆積層ー珪藻・黄金色藻遺骸を用いた台風襲来復元の試みー」	2021/12/1	日本地形学連合 2021 年秋季大会, オンライン開催	鹿島薫, 原口強
40	小川さやか	「リープフロッグ型発展とシェアリング経済ータンザニア商人を事例に」	2022/1/1	第6回「革新的意味創出研究会」, オンライン	
41	小川さやか	「ごちゃまぜに住むー居住空間のシェアと「家族らしさ」の変容」	2021/12/1	国立民族学博物館特別研究『家族の潜勢力』, オンライン	
42	小川さやか	「インフォーマリティとは何か」	2021/11/1	科研費基盤 A『インフォーマル化するアジア』(代表:遠藤環), 京都大学・京都市	
43	小川さやか	「離散を通じたシェアの実践ータンザニア商人を事例に」	2021/11/1	法政大学デザインフォーラム『モノノクケ>たち』, 法政大学・東京都	
44	小川さやか	「借りまわすしくみとプラットフォーム資本主義ータンザニア商人を事例に」	2021/11/1	文化人類学会一般公開シンポジウム『人類学からみる現代世界の信用と負債ー「人間の経済」に向けて』, オンライン	

45	富田敬大	「牧民の移動の類型的把握—D.バザルグルらの生態学的適合牧地論を中心に」	2022/1/1	『多重時空間エージェントモデルが拓く遊牧の科学』第20回研究会, オンライン	
46	富田敬大	「モンゴルと日本の国交50年と今後の展望—現代モンゴルにおける遊牧と寒害(ゾド)」	2021/3/1	『モンゴルと日本の50年』, オンライン,	
47	市木尚利	「ワウラ様式土器のX線CT解析」	2021/10/1	東海大学文明研究所, 2021年度東海大学アンデスコレクション研究懇談会, 東海大学湘南キャンパス(オンライン開催)	吉田晃章, 栗野若枝
48	市木尚利	「布圧痕をもつワウラ様式土器」	2021/12/4	古代アメリカ学会, 第26回研究大会, 法政大学多摩キャンパス(オンライン開催)	吉田晃章, 栗野若枝
49	宮地聡一郎	「弥生時代早期土器研究の現状と課題」	2021/12/1	2021年度文部科学省科学研究費補助金研究:学術変革領域研究(20A102), 若手研究者のための土器研究セミナー第1回, 熊本市中央区・熊本大学	
50	市木尚利	「アンデスにおける「遺跡博物館」の成果と課題〜ペルー・アンコンでの活動経験を中心に〜」	2021/12/1	古代アメリカ学会, 第3回公開シンポジウム まなぶ、たのしむ南北アメリカの古代文明—研究成果から学びの場へ, オンライン開催	
51	神松幸弘	「個に宿る全体—古代甘味料甘葛から見る地理学・生態学・人類学—」	2021/11/1	立命館地理学会 第33回大会, 立命館大学衣笠キャンパス(オンライン開催)	
52	Corey Noxon	Investigating the Middle Jomon Boom and Bust Population Pattern in the Kanto and Chubu Regions of Japan	2021/6/16	Computer Applications in Archaeology (CAA), CAA2021, オンライン開催	
53	Corey Noxon	A Paleodemographic Investigation of the Middle Jomon Boom and Bust Population Pattern in the Kanto and Chubu Regions	2021/6/27	SEAA 2021 Online Student Conference, Society for East Asian Archaeology (SEAA), オンライン開催	
54	Hiroshi Kondo	Framed landscape: Effects of Maps in the Forest Management Project among the Embera in Panama.	2021/6/22	Society for the anthropology of Lowland South America, SALSAL XIII Biennial Conference, USA・the University of Virginia (オンライン)	
55	Mitsuhiro Kuwahata	Surviving in the Ashes: A Preliminary Assessment of Socio-ecological Responses to a “Super-Eruption” in Foraging Southwest Japan (7.3ka cal BP)	2021/9/11	462 ASSESSING THE IMPACT OF MAJOR CLIMATIC AND/OR ENVIRONMENTAL EVENTS ON HUMAN CULTURE AND SUBSISTENCE 27th Annual Meeting of the European Association of Archaeologists, USA・Kiellin Deutschland (オンライン)	Junzo Uchiyama, Peter Jordan, Sven Isaksson
56	Takashi Kirimura	Supervised geodemographic classification approach using neural networks: a case study of Tokyo, Osaka, and Nagoya	2021/8/31	RGS-IBG Annual International Conference 2021, 英国・The Royal Geographical Society (オンライン)	

#### 4. 主催したシンポジウム・研究会等

No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1					

#### 5. その他研究活動 (報道発表や講演会等)

No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1	北川淳子	「死海の縞模様」福井で初展示	中日新聞夕刊, 6面	2021年5月17日
2	北川淳子	「死海の年縞世界で初展示」	県民福井, 2面	2021年5月19日
3	北川淳子	「死海の「しま模様」世界で初展示」	中日新聞, 12面	2021年5月19日
4	北川淳子	「堆積物が映す死海の気候変動 福井の博物館世界初展示」	産経新聞, 22面,	2021年6月11日
5	北川淳子	「死海の年縞」世界初展示」	日本経済新聞土曜版夕刊, 7面	2021年6月12日
6	北川淳子	「死海の年縞世界初公開」	毎日新聞, 26面	2021年7月10日
7	北川淳子	「縞模様数え」挑戦 若狭高校生 年縞博物館などで学習」	県民福井, 5面	2021年8月8日
8	小川さやか	「語らない自由」	日経新聞夕刊 10面	2021年4月2日
9	小川さやか	「書評『チャイナテック』趙瑋琳著」	読売新聞朝刊 12面	2021年4月4日
10	小川さやか	「ゆるり観察記 双子に手品を教えたら」	朝日新聞朝刊 24面	2021年4月7日

11	小川さやか	「麻薬とのたたかい」	日経新聞夕刊 8面	2021年4月16日
12	小川さやか	「弁士はどこへ行った」	日経新聞夕刊 8面	2021年4月16日
13	小川さやか	「書評『ウナギが故郷へ帰るとき』バトリック・スヴェンソン著」	読売新聞朝刊 12面	2021年4月18日
14	小川さやか	「ゆるり観察記 SNSで流れない情報」	朝日新聞朝刊 26面	2021年4月21日
15	小川さやか	「海老こわい？」	日経新聞夕刊 10面	2021年4月23日
16	小川さやか	「ずる賢いやつ」	日経新聞夕刊 8面	2021年4月30日
17	小川さやか	「書評『WHAT IS LIFE? 生命とは何か』ポール・ナース著」	読売新聞朝刊 10面	2021年5月2日
18	小川さやか	「夢のマイホーム」	日経新聞夕刊 8面	2021年5月7日
19	小川さやか	「ゆるり観察記 知恵で勝つ力は弱くとも」	朝日新聞朝刊 24面	2021年5月12日
20	小川さやか	「Tシャツの日本語」	日経新聞夕刊 10面	2021年5月14日
21	小川さやか	「書評『人は簡単には騙されない』ヒューゴ・メルシエ著」	読売新聞朝刊 12面	2021年5月16日
22	小川さやか	「恵みの雨」	日経新聞夕刊 10面	2021年5月21日
23	小川さやか	「ゆるり観察記 子どもだけで都市へ居候」	朝日新聞朝刊 28面	2021年5月26日
24	小川さやか	「休み上手」	日経新聞夕刊 10面	2021年5月28日
25	小川さやか	「書評『家は生態系』ロブ・ダン著」	読売新聞朝刊 10面,	2021年5月30日
26	小川さやか	「手ごわい袖の下文化」	日経新聞夕刊 10面	2021年6月4日
27	小川さやか	「『その日暮らし』したたかに」	読売新聞朝刊 6面	2021年6月6日
28	小川さやか	「ゆるり観察記 実は気楽なはんこ文化」	朝日新聞朝刊 22面	2021年6月9日
29	小川さやか	「漆黒の夜と眠らぬ街」	日経新聞夕刊 8面	2021年6月11日
30	小川さやか	「書評『日本で働く 外国人労働者の視点から』伊藤泰郎・崔博憲編著」	読売新聞朝刊 12面	2021年6月13日
31	小川さやか	「弱ったときの癒し」	日経新聞夕刊 8面	2021年6月18日
32	小川さやか	「ゆるり観察記 シェア想定した暮らし」	朝日新聞朝刊 24面	2021年6月23日
33	小川さやか	「バーで飲みたい」	日経新聞夕刊 12面	2021年6月25日
34	小川さやか	「書評『計算する生命』森田真生著」	読売新聞朝刊 12面	2021年6月27日
35	小川さやか	「ゆるり観察記 開き直る詐欺師の言い分」	朝日新聞朝刊 27面	2021年7月7日
36	小川さやか	「書評『数の発明 私たちは数をつくり 数につくられた』ケレイブ・エヴェレット著」	読売新聞朝刊 14面	2021年7月11日
37	小川さやか	「書評桃山鈴子著『わたしはイモムシ』」	読売新聞朝刊 11面	2021年7月18日
38	小川さやか	「ゆるり観察記 貨幣なき塀の中では」	朝日新聞朝刊 22面	2021年7月21日
39	小川さやか	「書評『逃亡者の社会学 アメリカ都市に生きる黒人たち』アリス・ゴッフマン著」	読売新聞朝刊 25面	2021年8月1日
40	小川さやか	「ゆるり観察記 『サヤカの国』への声援」	朝日新聞朝刊 22面	2021年8月4日
41	小川さやか	「ゆるり観察記 『汚部屋』に住む良さ」	朝日新聞朝刊 25面	2021年8月18日
42	小川さやか	「心がスッとする『健やかになる』本 フランツ・カフカ著、頭木弘樹編訳『絶望名人カフカの人生論』」	読売新聞朝刊 13面	2021年8月18日
43	小川さやか	「書評『西暦一〇〇〇年 グローバリゼーションの誕生』ヴァレリー・ハンセン著」	読売新聞朝刊 11面	2021年8月29日
44	小川さやか	「ゆるり観察記 ヒジャブの下の自由」	朝日新聞朝刊 24面	2021年9月1日
45	高橋学	「トカラ列島3日で200回以上の揺れ・・・南海トラフ地震の予兆か」	日刊ゲンダイDIGITAL	2021年4月14日

46	高橋学	「実はトカラ列島だけじゃない！ 日本全国で地震が激増中の怪」	週プレ NEWS	2021年4月21日
47	高橋学	「【独自】地震が多い自治体ランキング 東京、伊豆、鹿児島で異常 首都直下地震の可能性は？」	AERA dot.	2021年5月1日
48	高橋学	「今年、不穏な揺れが頻発しているのは「南海トラフ地震」の前兆か」	FRIDAY DIGITAL	2021年5月17日
49	高橋学	「独自調査でわかった「地震が少ない街」福岡で51地域、北海道で27地域」	AERA dot.	2021年5月29日
50	高橋学	「熱海の大規模土石流は“人災”か 盛り土と太陽光…高橋教授「斜面の保水力失わせるリスクがある」関東・関西に多い“土石流レッドゾーン”」	zakzak: 夕刊フジ公式サイト	2021年7月5日
51	高橋学	「危険なのは「盛り土」だけではない 土砂災害が起きやすい4つの条件」	AERA dot.	2021年7月10日
52	北川淳子	「水月湖ステンドグラスE-37」	日本博物館協会,56巻8号,p.33	2021年8月
53	小川さやか	「NHK『思考ガチャ』「夜に衝動買いをしてしまうワケ」	NHK	2021年7月16日
54	矢野健一	「TBS 番組『日立 世界ふしぎ発見！ 水の都・京都とミステリー・レイク琵琶湖のふしぎ』	TBS	2021年5月22日
55	高橋学	「おはようパーソナリティー道上海三です」	朝日放送ラジオ	2021年7月5日
56	高橋学	「ビートたけしのTVタックル」	テレビ朝日	2021年9月12日
57	小川さやか	「書評『ロスト欲望社会』橋本努編」	読売新聞朝刊 12面	2021年10月10日
58	小川さやか	「ゆるり観察記 愛の手芸品 内心恐々」	朝日新聞朝刊 31面	2021年10月13日
59	小川さやか	「ゆるり観察記 良薬はどこでも苦し」	朝日新聞朝刊 24面	2021年10月27日
60	小川さやか	「書評『精霊に捕まって倒れる』アン・ファディマン著」	読売新聞朝刊 10面	2021年10月24日
61	小川さやか	「ゆるり観察記 渡り歩くロバートの時計」	朝日新聞朝刊 30面	2021年11月10日
62	小川さやか	「書評『The Lonely Century』リーナ・ハーツ著」	読売新聞朝刊 12面	2021年11月7日
63	小川さやか	「ゆるり観察記 その日暮らしの知恵」	朝日新聞朝刊 29面	2021年11月24日
64	小川さやか	「書評『贈与と聖物』森山工著」	読売新聞朝刊 11面	2021年11月28日
65	小川さやか	「ゆるり観察記 肩寄せ座るだけでも」	朝日新聞朝刊 28面	2021年12月8日
66	小川さやか	「ゆるり観察記 違う考え存在する大切さ」	朝日新聞朝刊 29面	2021年12月22日
67	小川さやか	「書評『人間狩り』グレゴワール・シャムユエ著」	読売新聞朝刊 21面,	2021年12月12日
68	小川さやか	「読書委員が選ぶ 2021年の3冊」	読売新聞朝刊 11面	2022年12月26日
69	小川さやか	「書評『国家をもたぬよう社会は努めてきた クラストルは語る』ピエール・クラストル著」	読売新聞朝刊 22面	2022年1月9日
70	小川さやか	「書評『J.M.クッツェーと真実』くぼたのぞみ著『J.M.クッツェー 少年時代の写真』ハーマン・ウッデンバーグ著」	読売新聞朝刊 13面	2022年1月23日
71	小川さやか	「書評 プラグマティズムの深み 『転んでもいい主義のあゆみ』荒木優太著」	下野新聞朝刊	2022年2月6日
72	小川さやか	「書評『おうち野菜づくり』宮崎大輔著」	読売新聞朝刊 11面	2022年2月6日
73	小川さやか	「書評『サステナブル・フード革命』アマンダ・リトル著」	読売新聞朝刊 12面	2022年2月20日
74	小川さやか	「書評『古代中国の24時間』柿沼陽平著」	朝日新聞朝刊 21面	2021年2月26日
75	高橋学	「不気味青森で震度5強」	夕刊フジ 3面	2021年10月7日
76	高橋学	「東京で震度5強…専門家が警鐘「余震と津波で首都圏麻痺」危機」	FRIDAY DIGITAL	2021年10月8日
77	高橋学	「東京・埼玉震度5強」	夕刊フジ 3面	2021年10月9日
78	高橋学	「サンデーLive !!」	テレビ朝日	2021年10月10日
79	高橋学	「首都直下型地震や南海トラフ地震「いつ起きてもおかしくない」と専門家」	News ポストセブン	2021年10月15日
80	高橋学	「阿蘇山噴火 専門家が警鐘「次に爆発する山と大地震の危険地域」	FRIDAY DIGITAL	2021年10月20日

81	高橋学	「東北で M4 以上の揺れ頻発の不気味…「巨大地震」の前兆なのか？ 専門家が分析」	日刊ゲンダイDIGITAL	2021年11月10日
82	高橋学	「阿蘇山噴火は大地震の予兆！ 専門家が警鐘を鳴らす「富士山噴火」Xデー」	週刊大衆	2021年11月14日
83	高橋学	「ついに迫る…！ 南海トラフ巨大地震と首都直下型地震の「Xデー」」	FRIDAY DIGITAL	2021年11月18日
84	高橋学	「九州、沖縄沿岸の軽石大量漂着 大地震との関連性はあるのか」	News ポストセブン	2021年11月19日
85	高橋学	「南海トラフ地震 「相模トラフ」と連動なら死者 50 万人近くの見込みも」	News ポストセブン	2021年11月21日
86	高橋学	「相模トラフ M8 クラスの巨大地震が東京に与える激震「震度 7」の脅威」	AERA dot.	2021年11月26日
87	高橋学	「On shaky ground: Is Tokyo prepared for the ‘Big One’?」	The Japan times	2021年11月29日
88	高橋学	「富士山噴火の“前触れ”か？ 富士五湖震源、けさ震度5弱 周辺で相次ぐ地震、専門家「伊豆諸島にも注意」「起きれば南海トラフも」	zakzak: 夕刊フジ公式サイト	2021年12月3日
89	高橋学	「Pair of quakes shake Japan and prompt fears of more seismic activity to come」	The Japan times	2021年12月3日
90	高橋学	「山梨県東部・富士五湖と和歌山県・紀伊水道の W 地震は南海トラフの前触れか…専門家が警鐘」	日刊ゲンダイDIGITAL	2021年12月4日
91	高橋学	「都市部でも深刻化する水害 法改正でリスク説明も、変わらない不動産価格」	Yahoo ニュース ORIGINAL	2021年12月4日
92	高橋学	「続発する地震、噴火…「スーパー南海地震」との戦慄の関係」	FRIDAY DIGITAL	2021年12月8日
93	高橋学	「不気味な揺れが続く日本を「南海トラフ巨大地震」が襲う日」	FRIDAY DIGITAL	2021年12月11日
94	高橋学	「山梨、和歌山…相次ぐ地震は大地震の「前震」か 東日本大震災も 3 年前に岩手で」	AERA dot.	2021年12月14日
95	高橋学	「トカラ列島・群発地震の不気味 南海トラフ大地震で「日本沈没」は起こるのか？ 専門家の見解は…」	日刊ゲンダイDIGITAL	2021年12月17日
96	高橋学	「備えがなければ、死に至る「富士山大噴火」…ライフラインが止まり、食料も手に入らない」	週刊現代	2021年12月25日
97	高橋学	「今すぐ食料備蓄を始めるべき」北陸に未曾有の豪雪予報 “2022 年のリスク” 核心証言」	Asagei Biz	2022年1月9日
98	高橋学	「トンガ沖噴火“世界的寒冷化で食料危機”へ 大気中の粉塵で太陽光遮断、農業や畜産業に打撃 「脱炭素社会」実現も困難か」	zakzak: 夕刊フジ公式サイト	2022年1月17日
99	高橋学	「トンガ沖噴火では日本列島に津波到達 地上火山より恐ろしい海底火山噴火」	News ポストセブン	2022年1月24日
100	高橋学	「日本地震頻発 富士山随時可能噴発」	香港鳳凰電視台	2022年1月24日
101	高橋学	「大分・宮崎「震度 5 強」やはり南海トラフ巨大地震と関係あるのか…“最悪のシナリオ”は」	日刊ゲンダイDIGITAL	2022年1月25日
102	高橋学	「日本も要警戒 ハワイ、フィリピンエリアなど「隠れ海底火山」MAP」	News ポストセブン	2022年1月25日
103	高橋学	「トンガ以上の大噴火、日照量減少で「再エネ」効率悪化の懸念も「脱酸素」政策にも影響か」	AERA dot.	2022年1月27日
104	高橋学	「年末に相次いだ首都圏の揺れ」	日刊ゲンダイデジタル	2022年1月2日
105	高橋学	「今すぐ食料備蓄を始めるべき」	アサヒ芸能	2022年1月13日
106	高橋学	「2022 年は冷夏の不安」	日刊ゲンダイデジタル	2022年1月17日
107	高橋学	「トンガ沖噴火」	夕刊フジ	2022年1月18日
108	高橋学	「千年に一度の噴火」	産経 WEST	2022年1月18日
109	高橋学	「トンガ沖噴火 気象影響は」	産経新聞 27 面	2022年1月19日
110	高橋学	「トンガ沖大噴火がもたらす冷夏」	日刊ゲンダイ	2022年1月19日
111	高橋学	「南海トラフの前兆か」	夕刊フジ 3 面	2022年1月23日
112	高橋学	「日本地震頻発 富士山随時可能噴発」	鳳凰電視台, 香港鳳凰電視台	2022年1月25日
113	高橋学	「大分、宮崎で震度 5」	日刊ゲンダイ	2022年1月25日
114	高橋学	「殺人豪雪と巨大春台風」	週刊フライデー	2022年1月28日
115	高橋学	「トンガの海底火山の影響か」	日刊ゲンダイデジタル	2022年1月29日

116	高橋学	「破局噴火にも備える」	AERA	2022年1月31日
117	高橋学	「隠れ海底火山」	週刊ポスト	2022年2月4日
118	高橋学	「破局噴火と南海トラフ地震」	週刊フライデー	2022年2月11日
119	北川淳子	「奇跡の湖 水月湖の「年縞」	岡保公民館健康長寿事業 ひがし山学級	2022年3月8日
120	北川淳子	「季節がつくりだす縞模様「年縞」—水月湖に眠る7万年の縞模様が年代のものさしとなるまで—」	阪急交通社【オンライン講座】たびコト塾	2022年2月12日
121	北川淳子	「水月湖年縞の発見と研究～世界の水月湖になるまで～」	鯖江ライブラリーカフェ	2022年1月13日
122	北川淳子	「地層が語る7万年」	島根県立三瓶自然館 月イチガク	2021年12月11日
123	北川淳子	「水月湖年縞が解き明かす過去の気候変動」	敦賀ロータリークラブ	2021年12月8日
124	北川淳子	「季節がつくりだす縞模様「年縞」—水月湖に眠る7万年の縞模様が年代のものさしとなるまで—」	阪急交通社【オンライン講座】たびコト塾	2021年12月1日
125	山田和芳	科学情報の収集と取捨選択について	科学コミュニケーター養成講座	2021年11月7日
126	小川さやか	「反設計主義的なユートピアをめぐって」	不識庵特別シンポジウム『資本主義の根本問題を問い直す』	2021年10月4日
127	小川さやか	「「ネクストシェア」とコモンズの思想」	Wired Conference 2021 『Future: Re-generative』	2021年10月14日
128	小川さやか	「反設計主義的なユートピアをめぐって」	不識庵特別シンポジウム『資本主義の根本問題を問い直す』	2021年10月4日
129	小川さやか	「テクノロジーとインフォーマリティの未来—挑戦しやすさと生きやすさを模索する」	東京広告協会主催第2回特別講演会	2021年10月29日
130	小川さやか	「人類学者は社会をどう見るのか」	不識塾	2021年10月30日
131	小川さやか	「不確実性の想像力を育む物語の力」	信州大学人文学部国際交流委員会主催講演会	2021年11月2日
132	小川さやか	「市場とメディアのあいだ」	「鼎談:松岡正剛×松村圭一郎×小川さやか」 AIDA 編集工学主催『メディアと市場の AIDA Session 2 メディアのしたたかさ、市場のアナキズム』	2021年11月13日
133	小川さやか	「人間の「過剰さ」を再考する」	立命館大学先端総合学術研究科大学院ウィーク企画	2021年11月16日
134	小川さやか	「生存と不確実性の経済—スケールしないお金の話」	『ゲンロンカフェ』	2021年11月25日
135	小川さやか	「都市の生き方—シェアとコミュニティを問い直す」	横浜建築都市学F連続講座『都市の豊かさ』	2021年12月7日
136	小川さやか	「研究者のキャリアとライフイベントの両立について」	JSPS 男女共同参画推進シンポジウム『研究とライフイベントの両立へのヒントがここに!』	2021年12月13日
137	小川さやか	「マルチモーダルエスノグラフィを集約するプラットフォームエスノグラフィの方法論の構築」	月曜会(在洛新聞放送編集責任者会議)と学校法人立命館の懇談会	2021年12月17日
138	小川さやか	「その日暮らしとコミュニティの関係を問い直す—もう一つの資本主義経済」	共同通信社きさらぎ会(大阪)『2021年12月例会』	2021年1月20日
139	小川さやか	「エスノグラフィ・プロトタイプング—人間関係を築くメディアを再考する」	WIRED Sci-Fi プロトタイプング研究所『コラボレーションの未来—「出会いのデータベース」を構築した先に待ち受けているもの—』	2022年2月2日
140	小川さやか	「文化人類学的思考で考えるビジネスとは」	立命館大学・NewSession	2021年2月17日
141	小川さやか	『他者と生きる リスク・病い・死をめぐる人類学』刊行記念トークイベント		2021年2月27日
142	森下直紀	「人間中心主義世界観を再考する「アメリカの脱人間中心主義の思想的系譜」	和光大学・連続市民講座	2021年10月27日
143	中村豊	「徳島の石棒」	特別企画展記念講演会	2021年10月30日

